

「さんべボランティアのススメ」～先輩から後輩へ～

1 趣 旨

- ・主体的に社会に参画しようとしている青年を対象に、事業の企画・運営を通してリーダーシップを身につけ、将来のリーダーとなるための体験を通じた学びを提供する。
- ・リーダーシップをキーワードに、企画・運営の様々な場面で合意形成・問題解決を繰り返す中で、対人関係能力、コミュニケーション力、意思決定力等リーダーとして必要な資質の向上を図る。

2 事業の概要

(1) 期 日

①企画編 平成29年4月21日(金)～23日(日)【2泊3日】

②本番編 平成29年6月 2日(金)～ 4日(日)【2泊3日】

(2) 参加者

①企画編 8名 ※募集20名

②本番編 12名 ※募集20名

(3) 研修内容及び講師

第1回 さんべボランティアのススメ～先輩から後輩へ～①企画編

1日目	夜	○実習①「心をつなぐアイスブレイク」
2日目	午前	○実習②「野外炊飯：ビーフカレーをつくろう！」 指導：交流の家職員
	午後	○実習③さんべボランティアセミナーの話し合い①
3日目	夜	○実習④さんべボランティアセミナーの話し合い②
	午前	○実習⑤「竹を使ったバウムクーヘン作り」 指導：交流の家職員
	午後	○実習⑥さんべボランティアセミナーの話し合い③ ○振り返り・クロージング

第2回 さんべボランティアのススメ～先輩から後輩へ～②本番編

1日目	夜	「心をつなぐアイスブレイク」
2日目	午前	○プログラム準備
	午後	○「竹を使ったバウムクーヘン作り」 指導：交流の家職員
	夜	○「キャンドルのつどい」(自主企画)
3日目	午前	○プログラム準備
	午後	○講義・演習「青少年教育施設におけるボランティア活動の理解」(自主企画) ○振り返り・クロージング

3 事業の内容

(1) 事業の特色

これまでに当施設で活動してきたボランティアが「先輩ボラ」として、「さんべボランティアセミナー兼【前期】自然体験指導者（NEALリーダー）養成研修」（以下ボラセミ）の企画及び事業運営の補助に当たっていくという仕組みを継続して取り入れることにより、先輩ボラが次の世代を育成していくことができるようにしている。

(2) プログラムデザインと企画のポイント

これからボランティア活動を始めていこうとしているボラセミの参加者が、効果的に学びを深めていくことができるように、グループ単位での活動を多く設定し、本事業参加者には、グループリーダーを担ってもらった。

4 成果と課題

《成果》

- 先輩ボラからは、「今回の活動を通して去年との比較から自分の1年間での成長を感じるとともに、自分に足りないものが多いと感じたので、より一層積極的にボランティア活動を行いたい」「普段はやらないグループのリーダーをさせてもらい、活動を行う前は本当に自分はやれるのだろうか不安しかなかったが、最後までやりとげることができたので自分の大きな自信につながった。一方、まだまだだなどと思う自分の課題も再確認・発見することができた」のように、今回の事業を終えて、「先輩ボラ」の立ち位置で、後輩の指導に携わることで、今までの自分よりも成長した自分を実感するとともに、新たな課題を見つけることができた。

《課題》

- ①企画編について、学生の集中講義の日程が当初計画していた日程と被ってしまい、急遽1週間ずらして実施した。年度初めの4月にならないと集中講義の日程は確定しないが、後はさらに関係機関と連絡を密にして対応をしていく必要がある。



(担当：事業推進係員 久城 秀太)